



門脇 輝明 議員

# 情報の戦略目標は

町長

## 明確に定めていない



どう変わるホームページ

【門脇】「楽しさ自給率の高いまち」を達成するための情報に係る戦略目標は明確になっていないか。情報部門の体制や情報を受け取る側からの意見をフィードバックする仕組みはあるか。

なければ、モニター制度の創設は。

【町長】 目標を明確に定めたものはないが、必要とされる情報をタイムリーに、分かりやすく伝えることに重きを置き、広報活動を行っている。

体制は総務課広報室の4人で、効果的な情報発信に努めている。

意見を汲み取る仕組みは「町長への手紙」と、ホームページ上に「みんなの声」という投稿スペースを設けている。

【門脇】 公平・公正、そして満遍なくは分かるが、情報には軽重がある。

軽重を判断するうえで、大事なのが戦略目標だ。

広報のあり方は今のままでいいのかが。

【町長】 就任以来、情報発信に努めてきた。今後も受け手に伝わる情報発信に努める。

# 財政状況の改善は

町長

## 簡素で効率的な運営を実現する

【門脇】 集中改革プランの事業で、期待している財政状況の改善は。

【町長】 可能な限り数値目標を設定したが、中には効果額や数値だと内容になじまない項目や示しにくい項目があり、効果の考え方を記述した。

財政状況の改善だけではなく、今の時代に求められている簡素で効率的かつ効果的な行政運営が実現できるように進める。

【門脇】 職員の定員適正化計画は行政改革の大きなポイントの一つだが、計画自体はできているのか。

【町長】 きちんとした



自主組織への行革の影響は

定員管理計画はないが、類するものを可能な限り早く策定したい。

【門脇】 地域自主組織の自主財源を増やす目標があるが、ふるさと納税として地域自主組織に渡るお金は今後とも変わらぬか。

【町長】 制度は今後見直すことがあるが、寄付者が選んだ使途に使わせていただくのが原則だ。